



Webversion



IDF PRESS RELEASE

IDFプレスリリース

2019年11月14日、ブリュッセル発

IDF が酪農の福祉における知識を共有するための最新ツールをリリース **IDF releases latest tool to share knowledge in dairy welfare**

国際酪農連盟（IDF）は本日、大切なアニマルヘルスレポート（Animal Health Report）第13号を発表し、9カ国からの家畜福祉研究を紹介して、数多くの励みになる事例研究とともに本研究分野におけるスウェーデンの重要な経験を披露します。

[IDF アニマルヘルスレポート](#)最新号は酪農の福祉に専念したものであり、福祉の評価、緊急事態への対処、繁殖、跛行、乳房炎、新技術、および乳牛と子牛の長期の接触の例に関する情報が含まれています。

酪農家が良質の乳を生産するためには、乳用の家畜の福祉ニーズを満たし、家畜の視点からこれらのニーズを考慮する必要があります。家畜の基本的なニーズは、第一に生命に必要不可欠なものに取り組むことに関連しています。これを超えて、適正な福祉の達成は、改善された生活条件の利用可能性の周囲に中心を置きます。家畜福祉の重点分野は、歴史、伝統、文化によって国ごとに異なります。したがって、国境を越えた家畜福祉の改善に関する知識、文書、および体系的なアプローチの共有はなお重要です。

IDF 事務総長のキャロライン・エモンドは、この報告について次のように述べました：

「乳および乳製品は、世界中の食事のための最も栄養豊富な食品の一つであり、家

畜への健康的で良いケアが、安全で高品質の乳を生産します。IDFが作成したこのレポートは、重要な参照ツールであり、2019年の「IDF家畜福祉ガイド」で概説されているように、本セクターが世界規模での酪農生産における適正な動物福祉慣行の実施を促進する方法を示しています。」

本号は、家畜での使用を目的とした抗菌剤に関する第3回OIE年次データ収集に関する情報で完結します。これは、155カ国からの回答を含む世界的な畜産イニシアチブであり、[IDFウェブサイト](#)で本日から無料でダウンロードできます。

完

翻訳：J I D F事務局

編者注：仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。